

# Bruce Gilkes (ブルース・ジルクス)



ニューヨーク出身の元米空軍大佐、ブルース・ジルクス氏はロッキー山脈にある米国エア・フォース・バンド及びコロラド州の米国空軍士官学校バンドの前指揮者であり、1962年、Eastman School of Music(ニューヨーク州の私立学校)に入り、エモリー・レミントン氏とトロンボーンを学び、メトロポリタンのオペラ・バス・バリトン歌手ジュリアス・ヒューン氏と声楽を学んだ。1965年にはユーフォニアム奏者としてエア・フォース・バンドに入隊し、その後7年間、様々な部隊のバンドと演奏したり、ワシントンのCamerata合唱団に入って活動したりすると同時に、アメリカ・カトリック大学で勉強にも勤しんだ。1973年には声楽の学士号を獲得し、その後、修士号も取得した。彼は軍に在籍中、イリノイ州スコット空軍基地の空軍コマンド・バンド、ニュージャージー州マクガイア空軍基地のイースト・エア・フォース・バンド、及びニューハンプシャー州ピース空軍基地のニューイングランド・エア・フォース・バンドの指揮官を勤めた。またエア・フォースの公認合唱団Singing Sergeantsの指揮者、並びにワシントンDCエア・フォース・バンドの補佐指揮官も勤めた。イリノイ州ニューハンプシャーにフェスティバル・コーラス部を設立しその指導にあたり、メイン州ヨークのシーコースト・コミュニティー・コーラス部の指導も行った。

ジルクス大佐はコロラドスプリングス青少年交響楽団協会の理事長も努めてきた。彼はまた、ルイビルオーケストラや、ワルシャワやクラクフにおけるポーランド軍のコンサートバンドの客員指揮者も勤めた。インディアナ高校名誉バンド、セント・オラフ大学名誉バンドといった団体の指揮者として青少年の指導にもあたり、ここ12年間、夏にはインディアナ州の五大湖ミュージックキャンプでも指導にあたってきた。

ジルクス大佐はヨーロッパ、中南米やカリブ諸国同様、全米50州のほとんど全てを回り、アメリカ大統領や国会、外交長官、聖下ジョンポール二世法王、その他海外の高位高官の面前で演奏を行った。

1998年、彼はムシカ・プロプリアを設立し、アメリカの作曲家ジュリー・ジルーの新しい吹奏楽作品の出版を始めた。演奏者のために高品質の楽譜を製作する事を使命とし、さまざまなグレードの多様な作品を提供している。現在、彼はテキサス州サンアントニオのUSAAでミュージックディレクターを務め、邦人のコンサートバンド、ジャズバンド、コーラス部の指導にもあたっている。